

令和4年度 第11回頸城区地域協議会次第

日時：令和5年1月18日（水）
午後6時30分～
場所：頸城コミュニティプラザ
2階 203会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 協 議 事 項

- (1) 活動団体との意見交換から見えてきた地域の課題について
- (2) 令和4年度地域活動支援事業活動報告会について

4 そ の 他

5 閉 会

くびきまちづくり通信（振興会だより）の活用について

※第10回地域協議会での協議（まとめ）

	くびきまちづくり通信 (団体のコーナー)	地域協議会だより (協議会の活動報告)
記事の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・活動団体の行事予定、活動報告 ・活動団体の会員、ボランティア、協賛金等の募集 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域協議会の活動報告 ・地域活動支援事業補助金の活用事例紹介 など
発行形態	全戸配布	全戸配布
発行回数	毎月1回 (年12回)	年2回 (10月頃、3月) 意見：年/複数回発行する
発行までの 手順（役割分担）	<ul style="list-style-type: none"> ・記事を集める（ ） ・編集、校正する。（ ） ・印刷、発行する。（くびき振興会） 意見：委員（少数）が関わる	<ul style="list-style-type: none"> ・委員（5人）による編集会議（2回） ・原稿は委員が作成（執筆） ・校正、印刷、発行は事務局（区総合事務所）

実施方法（案）

実施方法（代替案）

発行までの 手順（役割分担）	<ul style="list-style-type: none"> ・記事を集める（事務局） ・編集、校正する。（事務局） ・印刷、発行する。（くびき振興会） 意見：委員（少数）が関わる	<ol style="list-style-type: none"> ① 担当委員を選出する。（協議会） ② 記事を考える。（協議会） ③ 編集、校正する。（協議会） ④ 印刷、発行する。（くびき振興会）
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・団体への周知（事務局） (コーナーができたことの経緯やイベント情報などの提供依頼) ・初回には、コーナーできた経緯をたよりに掲載する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域協議会だより」は、年2回の発行であり馴染みがなく、読んでもらえない。 ・身近な「くびきまちづくり通信」に地域協議会のトピックス（話題）を掲載することにより、気軽に読んでもらい、地域協議会を知ってもらうきっかけとする。 ・掲載欄は、原則「総合事務所だより」面とする。 ・「地域協議会だより」は例年どおり発行する。（現行：2回/年）

【参考：1か月のスケジュール】

時期	内容
月末	記事を集める
上旬	振興会との調整、記事の編集
	記事の校正
10日	振興会に原稿を提出（データ）
中旬	たよりの編集、印刷
25日	発送

くびきまちづくり通信

コーナー名を検討 → ○○○○○○コーナー
 (例：地域の活動団体を応援するコーナー)

月 日	行 事	会 場	主 催	問 合 せ	お 知 ら せ
○月○日(○)	○○○○一般公開	○○	○○会	○○○-○○○○	一般公開前の準備ボランティアを募集しています。
○月○日(○)	○○講座	○○○○	○○○保存会		事前の申込みが必要です。

【↓ 以下は初回のみ記載する】

※このコーナーは、活動団体の皆さんと頸城区地域協議会との意見交換がきっかけでできたコーナーです。

上記に続く文書を検討



- 案①_ぜひ地域の活動を応援してください！
 案②_皆さんのご参加・応援をお待ちしています。
 案③_地域の活動を知って、応援していただけるとありがたいです。

頸城区地域協議会トピックス

- ・〇月〇日、〇〇と意見交換を行いました。〇〇の意見がありました。
- ・〇月〇日、地域活動支援事業の活動報告会を実施します。この機会にぜひお越しください。

短期的スケジュール提案集計

カテゴリー	誰に	どのように	留意点
短 期 的			
① 接 点 を 持 つ	活動団体	①委員が身近な行事に積極的に出向き参加者と接点を持つ。	委員の意思を整理することも必要
	活動団体	②各団体の活動(イベント)に参加する。あるいは活動の準備段階からの参加が望ましく、活動団体の方向性を把握し、どういった課題があり、地域協議会委員の立場からどういった協力ができるか考える機会とする。	活動の主体は団体であり、協力するスタンスでの参加が必要。活動内容に関しては専門家ではないので意見、アドバイス等はできるだけ控える
	頸城の祭典実行委員会	③地域協議会と共催で実施する。	協議会は下支えに徹する。
	区民、若者中心	④当初予算事業に協力し、活動・報告・発表・評価をする。次年度の予算へ	
	各種団体の人たちと(4本柱)、社協の人たち	⑤各団体の人達と情報交換、交流する。	立場は違えど、目的は「頸城のために」。様々な立場や役職もあるが、同じ目線で温故知新、承前啓後で未来を作っていく気持ちを持っていたら良いと思う。
② 情 報 発 信	活動団体	①地域協議会が会議や会合に出向き、活動の説明を続ける。	委員の意思を整理することも必要
	活動団体	②情報誌、広報誌を活用し情報発信を続ける。	委員の意思を整理することも必要
	各団体、PTAの保護者	③活動団体との意見交換、学校・PTA行事で周知する。各町内の集会で周知する。地域活動支援事業報告会で今後の活動目標をしっかりと説明する。	夢に向かって(住みやすい区、こうなりたい故郷を造る人材確保)、リーダーを見つける。地域造りは人造り。お互いに否定せず、一緒に考える。
③ 交 換 意 見	社会福祉施設	①双方で意見交換を行う。	
	各種団体の人たちと(4本柱)、社協の人たち	②活動団体との距離を縮める。 同じような内容を話し合っているため、お互いの意見をすり合わせる。	立場は違えど、目的は「頸城のために」。様々な立場や役職もあるが、同じ目線で温故知新、承前啓後で未来を作っていく気持ちを持っていたら良いと思う。
④ 学 生	小・中学生	①課題に対して取り組んでくれそうな学年を選んで相談する。	<ul style="list-style-type: none"> ・通常の学習がある中で、「総合的な学習」で検討してもらうので、授業(カリキュラム)との調整 ・課題に対しての丁寧な説明 ・地域協議会委員の丁寧な説明 ・今ある組織との協力
	小・中学生	②学年が決まったら4月(年度始め)から担任の先生と協議会委員とで相談する。	
	小・中学生	③総合的な学習の中で、課題を組んでの活動のアドバイス、補助、手伝い	
	小・中学生	④外部組織への発信から地域への注目をしてもらう。	

カテゴリー	誰に	どのように	留意点
中 期 的			
活動団体		各団体の活動(イベント)に参加する。	活動の主体は活動団体であり、主体性を否定するようなコメント、アプローチは出来るだけ避ける。
活動団体		地域協議会委員の立場から事務所と連携して予算案の作成アドバイスを行う。あるいは活動団体で解決できない課題解決の会議(専門家招く)を提供する。	活動の主体は活動団体であり、主体性を否定するようなコメント、アプローチは出来るだけ避ける。
小学生、高校生を含む		事業に参加してもらい、目指す頸城区を知ってもらう。各町内会で	夢に向かって(住みやすい区、こうなりたい故郷をつくる人材確保)、リーダーを見つける。地域づくりは人づくり、お互いに否定せず、一緒に考える。
小・中学生		短期的カテゴリー「④学生①②③」の継続 ①②③を続けながら保護者又は、PTAを巻きこんでの活動を考えて実行する。	<ul style="list-style-type: none"> ・通常の学習がある中で、「総合的な学習」で検討してもらうので、授業(カリキュラム)との調整 ・課題に対しての丁寧な説明 ・地域協議会委員の丁寧な説明 ・今ある組織との協力
小・中学生		短期的カテゴリー「④学生④」の継続 ④発信の拡充により住民(大人)の関心呼び込んで	<ul style="list-style-type: none"> ・通常の学習がある中で、「総合的な学習」で検討してもらうので、授業(カリキュラム)との調整 ・課題に対しての丁寧な説明 ・地域協議会委員の丁寧な説明 ・今ある組織との協力
各種団体の人たちと(4本柱)、社協の人たち		短期的カテゴリー「③意見交換②」の継続 地域の考え(方向性)をまとめていく。	立場は違えど、目的は「頸城のために」。様々な立場や役職もあるが、同じ目線で温故知新、承前啓後で未来を作っていく気持ちを持っていたら良いと思う。
各種団体の人たちと(4本柱)、社協の人たち		短期的カテゴリー「①接点を持つ⑤」の継続 一元化する人材や団体をつくる。	立場は違えど、目的は「頸城のために」。様々な立場や役職もあるが、同じ目線で温故知新、承前啓後で未来を作っていく気持ちを持っていたら良いと思う。
それ以降			
R6年度に話し合った人や団体のメンバーの人たちと住民その人		短期的カテゴリー「①接点を持つ⑤」及び「③意見交換②」の継続 R6年度までにまとまったことを、未来に生かしていく。	立場は違えど、目的は「頸城のために」。様々な立場や役職もあるが、同じ目線で温故知新、承前啓後で未来を作っていく気持ちを持っていたら良いと思う。
活動団体		前年度同様、活動の継続、活性化できるように協働する	
小・中学生		10代の若者による地域の魅力発信のくせを作らせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・通常の学習がある中で、「総合的な学習」で検討してもらうので、授業(カリキュラム)との調整 ・課題に対しての丁寧な説明 ・地域協議会委員の丁寧な説明 ・今ある組織との協力
小・中学生		外からの注目を浴びて住民の誇りができるので今までの活動に若者を取り込む。	<ul style="list-style-type: none"> ・通常の学習がある中で、「総合的な学習」で検討してもらうので、授業(カリキュラム)との調整 ・課題に対しての丁寧な説明 ・地域協議会委員の丁寧な説明 ・今ある組織との協力
全年齢層		各町内にいるその道のプロ、仕事の技術を生かし、個人の資格を巧として教えあう(各自の仕事は自信を持って教えらる⇒地域づくりの指導者)	夢に向かって(住みやすい区、こうなりたい故郷をつくる人材確保)、リーダーを見つける、地域づくりは人づくり、お互いに否定せず、一緒に考える。

カテゴリー	誰に	どのように	留意点
短期的～それ以降			
区内の活動団体及びボランティア	活動団体との話し合いで解決していく。	行事運営を長く行っていくためにも、区内の皆さんと話し合いを持ち、主の組織作りを行政のアドバイスを受けながら進めていく。	
区内の活動団体及びボランティア	①先行きを見据えてボランティアを募集していく。	行事運営を長く行っていくためにも、区内の皆さんと話し合いを持ち、主の組織作りを行政のアドバイスを受けながら進めていく。	
活動団体	組織に携わる人材の発掘、育成(短期～それ以降)	委員の意思を整理することも必要	
区内の活動団体や活動している個人	活動団体や活動する個人と当該組織では、個人と話し合いを持ち、問題を洗い出し共有する。	区の将来について、問題や課題を解決しながら運営できるようにしていくために次世代リーダーの育成、活動のコーディネーターの育成を考慮しながら地域協議会が先頭に立って進めていく。(地域協議会は問題提起だけでなく、解決まで立ち合い、達成に向かうべきである)	
区内の活動団体や活動している個人	全ての問題に行政からのアドバイス(必要なら)を受けて、方向性を探っていく。優先順位の早い(必要性の高い問題)から解決する方法を探っていく。	区の将来について、問題や課題を解決しながら運営できるようにしていくために次世代リーダーの育成、活動のコーディネーターの育成を考慮しながら地域協議会が先頭に立って進めていく。(地域協議会は問題提起だけでなく、解決まで立ち合い、達成に向かうべきである)	

令和4年度地域活動支援事業活動報告会について

1. 開催日時、会場 3月23日（木）午後6時から、希望館多目的ホール

2. 開催内容（案）

A案	例年同様の案 ・実施団体の活動状況の発表 ・意見交換
B案	活動状況の発表と令和5年度の事業説明を合わせて行う案 ・実施団体の活動状況の発表 ・令和5年度の（仮称）地域独自の予算の説明（制度、頸城区の事業） ・意見交換

※ A案の場合は、B案中の令和5年度の（仮称）地域独自の予算の説明を4月以降に開催することを検討する。

3. 準備スケジュール

- 2月 中旬 実施団体に実施方法等を周知
- 2月 日 第12回地域協議会（当日の役割等を確認）
- 2月21日 各町内会へ開催案内の回覧を発送
- 3月 中旬 防災行政無線による周知
- 3月23日 報告会当日